

# 留学体験レポート

21017125 横井 廉

私は、9月1日から12月27日の約4カ月慶熙大学に語学留学をしに行き、色々な体験をしました。日本じゃないところで生活すること自体が初めてで、最初は慣れないことが多くてとても大変でした。韓国語を勉強してまだ一年くらいで周りの人たちよりも韓国語の能力が劣っていて韓国についたときは4カ月本当にやっていけるのか不安でした。特にコミュニケーションの面が一番苦労しました。最初は何をしゃべっているのかもわかりませんでした。しかし、韓国で生活していくうちに日常で飛び交う言葉や授業で聞いた言葉を吸収することで少しずつ慣れていきました。毎日学校に通ううちに自然と会話を少しずつすることが出来ました。その時が一番嬉しさを実感できました。私が4カ月留学して特に思い出に残っていることをまとめていこうと思います。

まずは食事面についてです。韓国は辛い食べ物が多いのが特に印象的でした。私自身辛い食べ物が好きで最初のほうは毎日食べていました。その結果、お腹を下してしまいました。辛い食べ物が好きでも毎日食べることはやめたほうがいいと思います。韓国では基本自炊をして自分でご飯を作る人もいればコンビニや外食で済ませる人もいました。寮の近くにはコンビニや安いスーパーがあったので私はなるべく安く済ませていました。大学の近くには美味しいごはん屋さんがたくさんあったのでたまに外食をしていました。特に美味しかったのが、パジョンといった料理で、日本でいうチヂミというものです。韓国ではどんなお店に行ってもキムチが出できます。各店でもキムチの味は全然違うのでそういった部分でも楽しく食事できました。

次は、授業についてです。授業は最初の1カ月は日本人だけのクラスだったので何とか授業についていくことが出来ました。また、授業は全部韓国語で行われるので毎日疲れました。10月ごろから外国人のクラスになりさらに大変になりました。クラスの中には私よりできる人ばかりで毎日予習してやっとなついていくといった感じでした。毎日繰り返したら徐々に何を言っているかわかり意思疎通がとれるようになりました。自分の意見なども韓国で伝えることができ、毎日の授業が楽しくなりました。外国人のクラスで南怡島に行ったときはクラスメイトとたくさん会話することができ仲良くなるきっかけになったのでとても楽しかったです。

私たち6人新潟国際情報大学の人も4カ月を通して成長を感じた部分があったと思います。お互い助け合いながらなんとか無事に帰国することができました。様々なサポートを受けたことに感謝しつつ貴重な体験をできたことをとてもうれしく思います。